

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、下記項目につきまして本年10月より検査方法及び基準値等を変更させていただきますことになりましたので、取り急ぎご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

## ●検査内容変更項目

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
2192	膵グルカゴン (IRG)	検査方法 検体量 基準値 報告桁数 所要日数	EIA EDTA・アプロチニン血漿 0.4 mL 5.4~55.0 pg/mL (空腹時) 小数1位、有効3桁 3~10日	RIA (二抗体法) EDTA・アプロチニン血漿 0.6 mL 70~174pg/mL 整数、有効3桁 5~8日	Non-RIA 試薬への切替 ※溶血検体は低値傾向
2132	尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)	検査方法 保存方法 所要日数	LA (ラテックス凝集比濁法) 凍結 2~4日	CLEIA 冷蔵 3~5日	所要日数の短縮
547	セロトニン(5-HT)	検査方法	LC-MS/MS	HPLC	LC-MS/MS法の採用
2046	EGFR 遺伝子変異解析	項目名称 報告形態	肺癌 EGFR 遺伝子変異解析 Clamp S768I、Ex20 Insertion、 L833Xの各変異を報告対象に追加。	EGFR 遺伝子変異解析 —	EGFR Clamp法に関する検出対象変異(マイナー変異)の追加
1571	アスペルギルス抗原: ELISA	項目名称	アスペルギルス抗原: EIA	アスペルギルス抗原: ELISA	項目名称の適正化
205	CRP 定量	検査方法	LA (ラテックス凝集比濁法) 【ニッポーメディカル】	LA (ラテックス凝集比濁法) 【LSIメディエンス】	測定試薬の変更 ※[204]CRP 定性も同試薬に変更

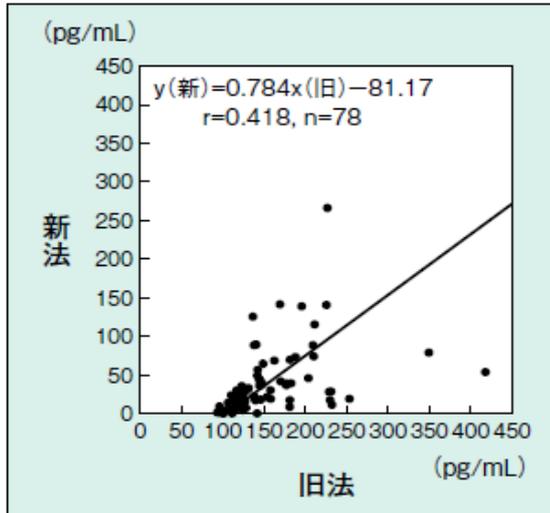
## ●変更期日

2019年10月1日(火) 受付日分より

### 【 脛グルカゴン (IRG) 】

脛グルカゴンの検査方法をRIA法からEIA法に変更致します。本EIA法はグルカゴン測定における現時点の標準法たるLC-MS/MSとの相関も良好です。

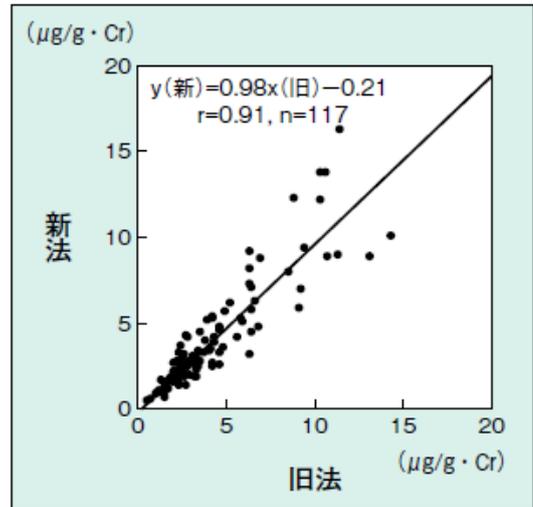
なお、EIA法採用に伴い、基準値を当該検査試薬の添付文書記載値に変更致します。



### 【 尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) 】

尿中L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP) の検査方法をCLEIA法からラテックス凝集比濁法に変更するとともに、報告所要日数を短縮致します。

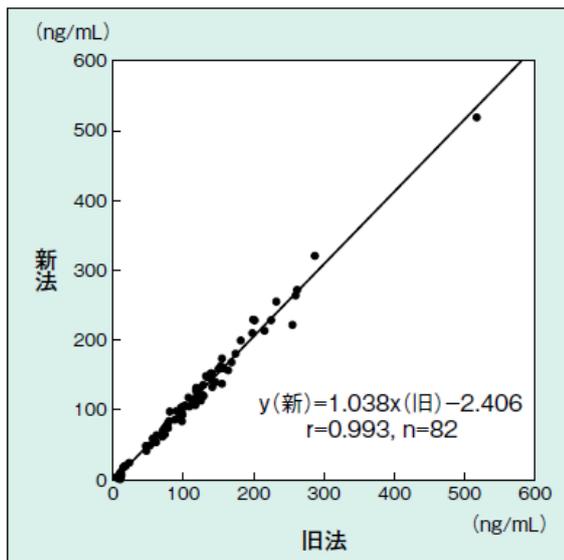
新旧二法の相関は良好であり、基準値の変更はございません。



### 【 セロトニン (5-HT) 】

セロトニンの検査方法をHPLCから、より高精度な液体クロマトグラフィータンデム質量分析法 (LC-MS/MS) に変更致します。

新旧二法の相関は良好であり、基準値の変更はございません。



### 【 CRP 定量 】

CRP定量及びCRP定性の測定試薬を変更致します。

新旧測定試薬の相関は良好であり、基準値の変更はございません。

